

## PDA 新潟県即興型英語ディベート 第1回授業（体験会）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年11月16日（金）16:00-18:30

会場：新潟県立新潟高等学校

参加者：生徒31名、教員5名

ジャッジ：PDAスタッフ、東京大学、一橋大学

助成：公益財団法人 日本財団

まず初めに、英語科森先生より「言いたいことが言えるようにこのディベートの時間を有意義なものにしてください。」とご挨拶がありました。そして飯田校長先生より、「英語はもちろんですが、それだけでなく、発信力やコミュニケーション力も重要です。これらの力を身につけるのにディベートは非常に役にたつと思うので、積極的に取り組んでみてください。」と激励のお言葉をいただきました。

次に、PDAのスタッフより、ルール説明、POI（Point of Information: ディベート中の質疑応答）の練習を行った後、スタッフによるモデルディベートを披露しました。POIの練習では少し照れている様子も見られましたが、しっかりPOIのポーズをすることができました。



そしていよいよ第1ラウンドの始まりです。論題が発表される前は緊張している面持ちでしたが、いざ論題が発表され準備時間が始まると、ブレストシート（準備時間に用いるアイデア出しシート）をうまく活用しながらチームでポイントを考えることができました。ラウンドでは、あらかじめ考えていたことだけでなく、その場で考えたこと、追加で言いたいことを一生懸命に伝える姿勢が多く見られました。ジャッジの先生からのコメントもメモを取りながら聞き、次に活かそうとする姿が見られました。



対戦相手を変えて第2ラウンドの始まりです。ルールにも慣れ、第一ラウンドよりも早くポイントを決定し、相手の反論を予測しながらポイントを考えることができました。実際にディベートが始まると、具体例を増やしたり、堂々と聞き手に伝わりやすいスピーチを試みたり、第1ラウンドでジャッジの先生から受けたアドバイスを積極的に活かそうとする様子が見られました。



## 生徒の声（アンケートより抜粋）

- ・英語をこんなに使えたのは初めてだった。伝わるおもしろさがわかった。
- ・人前で話すのは苦手だが、楽しいと感じた。
- ・初めにとっても緊張して思うように話せなかったけれど、回を重ねることによって英語で討論することが楽しいと思えた。
- ・即興で内容を考えることは難しかったが、上手く言葉が浮かんできたり、相手の話を理解できたりすると嬉しかった。
- ・初めはなかなか自分の意見を話せなかったが、2回目は1回目よりも多く話せて、英語を話すことが楽しく感じた。
- ・学びが多かった。英語力、伝え方、、、。周囲のレベルが高い人も刺激になりました。
- ・アメ研では、辞書もほとんど使えない状況でやらなくてはならないし、海外はこういう議論系を好むといわれているので、もっとディベートに強くなりたと思う。
- ・意見を伝えるということは普段あまりやらないが、そのような新体験をできて、とても勉強になりました！即興で意見を考える力を更に高めたいと考えました。
- ・人前で自分の考えを英語で言うという経験が新鮮で楽しかったんですが、自分の英語力のなさを痛感し、もっと話せるようになりたいと以前よりも強く思うようになった。
- ・普段はこれだけ全て英語を話す機会がなかったのでとても新鮮で楽しかったです。
- ・今までで1番英語にふれることができたので、とても楽しかったです。アメ研に向けてがんばりたいです。
- ・どの点を改善すれば良いか具体的に教えていただいたので、2回目までに直すことができ、うれしかった。
- ・意見を伝える難しさを知ることができ楽しかった。
- ・自分の意見や主張を人々に語りかけて納得してもらうのがとてもわくわくして楽しいことなのだと気づけた。
- ・とても自分のためになった。相手と自分を比べて発信することはとても難しいものであるのだと思った。

## ベストディベーターに選ばれた皆さん

### 〈1回目〉

■■■■さん(1組)  
■■■■さん(1組)  
■■■■さん(7組)  
■■■■さん(7組)  
■■■■さん(8組)  
■■■■さん(9組)  
■■■■さん(9組)  
■■■■さん(9組)

### 〈2回目〉

■■■■さん(2組)  
■■■■さん(4組)  
■■■■さん(4組)  
■■■■さん(8組)  
■■■■さん(8組)  
■■■■さん(8組)  
■■■■さん(9組)  
■■■■さん(9組)